

事業所名	従業員規模	所在地	支援テーマ	支援回数
個人 A氏	なし	大阪府八尾市	更なる経営プランの作成支援	6回

相談内容・現状課題

■相談内容

- ・両親の高齢化に伴う労働力の減少を懸念しており、今後雇用すべきか、また、雇用する場合はどのような環境を整えるべきか相談したい。
- ・収益性を高めるために、主力となる野菜以外の品目を作付けすることを検討。新たな品目を始めるにあたって助言がほしい。

■現状課題等

- ・将来の経営プランや雇用に向けた具体的な経費等について把握していない状況のため、将来の経営プランや目指すべき姿(ビジョン)を定め、現状の収支状況の分析、次年度の収支計画書の作成を支援する必要がある。
- ・雇用する場合の作業者の作業内容、手順等について整備できていないため、作業体制の整備を支援する必要がある。

相談所の支援体制・伴走支援チームからの改善提案(問題解決方法)

■支援内容

中小企業診断士による支援チームを編成し、以下の支援を実施。

1. 収支計画書の作成支援
 - ・自身の将来像を考え、ビジネスプランシート、収支計画書の作成を支援。
 - ・これまでの収支状況を分析し、雇用した場合の収支計画をシミュレーションするように助言。
 - ・新規品目については取引先のニーズの把握、テストマーケティングを実施するように助言。
2. 雇用環境の整備に関する支援
 - ・雇用のルール等について、セミナー等に参加するように誘導。
 - ・障害者支援施設での作業マニュアルを参考に、野菜の作業マニュアルのまとめ方を説明。
 - ・作業手順について、改善の4原則(ECRS)を軸に、現状の作業において改善できそうな点について助言。

作業工程において、慣例となっていて自らでは気づかない無駄を第三者の視点が入ることで発見できたことが作業の効率化に繋がり、余剰な労働力の再配分に繋げることができた。

支援の成果・その後の状況

■支援の成果・その後の状況

専門家の指導・助言を受けて収支計画書、野菜作業マニュアルを作成することができた。今後、当該計画及びマニュアルをもとに営農を実践し、経営改善を図っていく。

併せて、雇用における注意点等について理解を深めた。今後、出荷調整の作業の改善、雇用の確保を進める意向。



営農風景

■コーディネーター所感

今回の支援では、対象農業者のニーズに合った専門家(中小企業診断士)を派遣することができた。

今後、専門家からの助言をもとに農業者自身が計画等を進めていくことになるが、今後新たな雇用に際しては就業規則の作成が必要となるため、必要に応じ、支援を行っていく考え。